

十小地域づくりの会のお知らせ

同じ地域に住む住人同士、お互いを知り合い、地域のことについて話し合う場をつくろう、と清瀬市と清瀬市社会福祉協議会が共催で「十小地域づくりの会」を実施しています。

平成29年3月27日（月）に行われた第10回の会では、日本社会事業大学准教授の菱沼幹男氏より地域コミュニティづくりについてお話しいただきました。新しく参加された方も含め、地域住民の方、保護者の方、民生児童委員、学校職員、地域活動ボランティア従事者など26名とともに今後の「十小地域づくりの会」について一緒に考えました。



誰もが幸せに暮らせる地域とは・・・

私たちの生活の不安にはどういったものがあるのでしょうか。「職を失うこと」「病気になること」「社会的な孤立や孤独」「老後生活」「教育機会」などあるでしょう。中でも社会的孤立は、消費者被害や犯罪に巻き込まれやすかったり、食事の偏りや健康の悪化が見られたり、生きがいの低下や自殺などをもたらしたりします。

一方で、幸せに暮らすためには必要なものは「家族」「友人」「お金」「健康」…その人その人によって変わってくるでしょう。家族や友人などの「人との関係」が幸福を与えてくれると感じる人は多くいます。地域には、専門職が代わることでできない人間関係や居場所があります。

また、地域には包容と排除の力もあります。排除を生み出さないためには、学習と交流が大事です。豊かな地域活動をしているところは、学びの場が充実していますし、地域内の社会関係が豊かに広がったり、地域の問題を解決する力が高まることにつながります。

住民主体の組織をつくって活動している地域は、こんな取組みをしています！

常設型のコミュニティサロン→住民の交流拠点に

「秋田県湯沢市」ボランティア団体や障害関係団体などが当番で運営。障害のある方との交流もできる。

「文京区こまじいの家」中心者の自宅を開放、常時人と話ができる場にした。有料で生活支援も行う。

「東久留米市ダイニングカフェ滝山」月～土に団地自治会が運営。土曜は日本社会事業大学生も関わる。

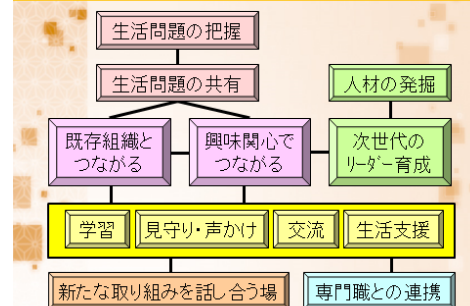
障害のある方との活動→障害の理解に

「鶴ヶ島 地域支え合い協議会」小学校体育館での災害時宿泊訓練に、視覚障害者も参加。

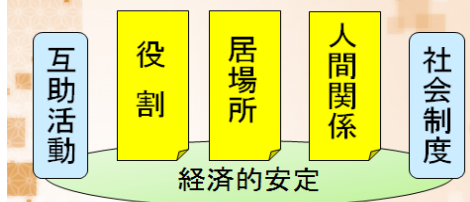
自分が支える地域は自分を支えてくれる地域、私の問題は私たちの問題と考え、支えあうことが、幸せに暮らせる地域づくりにつながっていきます。

今回は、菱沼幹男先生のお話や地域での活動を一緒に振り返りながら、地域を良くする取組みを考えていきましょう。

小地域福祉活動の進め方のポイント

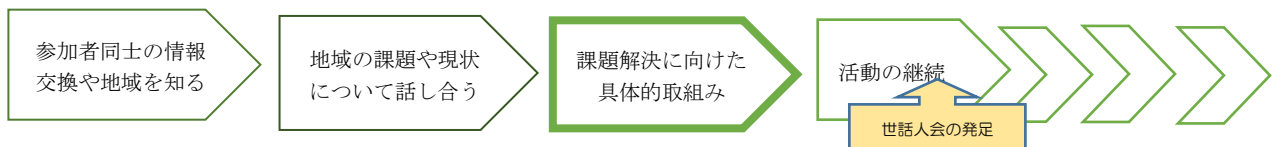


私達が生き生きと幸せに暮らすために欠かせないこと



豊かな社会関係と社会的役割の創出

話し合いのサイクル



次回開催は4月27日（木）13：15～ 清瀬第十小学校2階けやきにて
どなたでも参加できます！ぜひおいでください！

